



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月3日

上場会社名 I Tホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3626 URL <http://www.itholdings.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前西 規夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部副本部長 (氏名) 喜多 昭男 TEL 03 (5338) 2272  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家等向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	238,447	1.0	8,388	8.4	8,251	18.0	3,211	20.2
25年3月期第3四半期	236,112	4.7	7,741	61.1	6,995	47.2	2,671	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 8,066百万円 (147.0%) 25年3月期第3四半期 3,265百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	36.59	36.55
25年3月期第3四半期	30.43	30.41

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	291,198	163,961	53.6
25年3月期	302,302	158,159	49.8

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 156,062百万円 25年3月期 150,514百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.00	—	14.00	21.00
26年3月期	—	8.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	17.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	345,000	2.1	20,500	12.8	20,000	14.7	7,500	27.8	85.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	87,789,098株	25年3月期	87,789,098株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	2,935株	25年3月期	19,046株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	87,771,067株	25年3月期3Q	87,771,555株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の積極的な財政・金融政策の影響により、個人消費、生産等が牽引し、緩やかな景気回復の動きが強まりを見せました。しかしながら、輸出の状況や海外の景気動向のほか、2014年4月の消費税率引上げによる需要減等が今後の懸念材料となっています。

当社グループの属する情報サービス産業は、日銀短観（平成25年12月調査）におけるソフトウェア投資計画（金融機関を含む全産業）が前年度比10.9%増となる等、指標面において景気回復に伴うIT投資拡大が期待できる内容が示されています。実態面では、上期は金融機関をはじめとする一部顧客にとどまっていたIT投資意欲の高まりが、下期には景況感の改善に合わせて産業分野においても感じられるようになりました。

このような状況の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高238,447百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益8,388百万円（同8.4%増）、経常利益8,251百万円（同18.0%増）、四半期純利益3,211百万円（同20.2%増）となりました。

売上高については、ITインフラストラクチャーサービス及び金融ITサービスが牽引し、産業ITサービスにおける前期の大型開発案件の反動減等をカバーした結果、全体では前年同期を上回りました。利益面については不採算案件の影響はあったものの、増収効果やコスト削減に努めたことから、前年同期を上回りました。

セグメント別の状況は以下のとおりです。なお、各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んでいません。

#### ① ITインフラストラクチャーサービス

当第3四半期連結累計期間の売上高は84,608百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益は5,123百万円（同14.3%増）となりました。売上高はデータセンター事業における利用拡大や少額投資非課税制度関連の対応を含めたBPO事業が好調に推移したこと等から増収増益となりました。

#### ② 金融ITサービス

当第3四半期連結累計期間の売上高は52,406百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益は3,391百万円（同31.4%増）となりました。クレジットカード、銀行、保険の主要顧客における緩やかなIT投資拡大の動き等により、増収増益となりました。

#### ③ 産業ITサービス

当第3四半期連結累計期間の売上高は103,184万円（前年同期比2.4%減）、営業損失は687百万円（前年同期は営業利益507百万円）となりました。売上高は前期の製造業顧客向けの大型開発案件に係る反動減の影響等により前年同期を下回りましたが、当該影響を除けば前年同期を上回りました。営業利益については、一部の開発案件における追加費用計上や営業体制強化に向けた販売費増加の影響等により、前年同期を下回りました。

#### ④ その他

当第3四半期連結累計期間の売上高は12,344百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益は1,583百万円（同1.0%減）となりました。

当社グループは、グループが一体となって変革を成し遂げるIT企業グループを目指し、「トップライン重視」、「as One Company」、「進取果敢」を基本コンセプトとする第2次中期経営計画（平成24年度～平成26年度）を前期よりスタートさせ、経営課題に取り組んでいます。

2年目となる当期は、前期までの実績や施策の取組み状況を踏まえ、基本コンセプトに基づくグループ経営方針として「業績回復を確実にすべく、トップラインを「成長軌道」に乗せる」、「グループコミュニケーション基盤の更なる強化とオープン&ダイナミックな風土を醸成する」、「サービス化・グローバル化の拡大を図る」を掲げ、グループを挙げて諸施策を推進しています。

この一環として、当社は、平成25年6月より新経営体制へ移行し、グループ主要会社の代表取締役5名を当社の非常勤取締役と兼任させる等、グループ全体最適に向けた推進体制を強化しました。

また、コア事業及び成長分野に注力できる体制構築を推進すべく、リース事業全体の動向や経営資源の一層の効率化の観点から、TISリース株式会社のリース事業について撤退することとしました。

今後も、新経営体制において、第2次中期経営計画の達成を確実なものとし、企業価値を向上させるべく、以下の重点施策を推進してまいります。

1. グループ・コミュニケーション基盤の強固化
2. 特長ある明確な強み（成長エンジン）の構築と事業領域単位での連携
3. サービス化、グローバル化への取り組みの深化
4. バックオフィスの効率化とグループ共通ITシステムの導入

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

売上高は概ね計画に沿って推移しています。営業利益等は計画に対する進捗がやや芳しくない状況にありますが、事業環境の緩やかな改善による効果やコスト削減等に努め、グループ一丸となって計画達成を図ってまいります。

以上を踏まえ、現時点で平成25年5月10日発表の連結業績予想を変更いたしません。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,633	30,245
受取手形及び売掛金	68,249	42,803
リース債権及びリース投資資産	9,322	8,643
有価証券	5,401	326
商品及び製品	3,035	5,116
仕掛品	7,091	15,362
原材料及び貯蔵品	200	205
繰延税金資産	8,523	6,131
その他	7,846	9,891
貸倒引当金	△85	△64
流動資産合計	138,219	118,661
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	58,133	57,707
機械装置及び運搬具（純額）	4,231	4,353
土地	21,135	21,041
リース資産（純額）	3,615	3,382
その他（純額）	6,475	5,854
有形固定資産合計	93,592	92,340
無形固定資産		
のれん	1,784	1,003
その他	13,487	14,456
無形固定資産合計	15,272	15,459
投資その他の資産		
投資有価証券	32,633	42,981
繰延税金資産	6,823	5,825
その他	17,577	16,470
貸倒引当金	△1,816	△540
投資その他の資産合計	55,218	64,736
固定資産合計	164,083	172,536
資産合計	302,302	291,198

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,692	14,321
短期借入金	32,881	19,240
未払法人税等	3,112	379
賞与引当金	11,074	5,282
その他の引当金	551	1,191
その他	25,750	25,562
流動負債合計	91,063	65,978
固定負債		
長期借入金	27,668	34,636
リース債務	5,501	5,076
退職給付引当金	12,762	14,147
役員退職慰労引当金	108	87
繰延税金負債	492	1,178
再評価に係る繰延税金負債	732	732
その他	5,813	5,400
固定負債合計	53,079	61,258
負債合計	144,143	127,237
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,001	10,001
資本剰余金	86,787	86,786
利益剰余金	51,596	52,877
自己株式	△27	△4
株主資本合計	148,357	149,660
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,271	8,411
土地再評価差額金	△1,967	△1,967
為替換算調整勘定	△147	△41
その他の包括利益累計額合計	2,157	6,402
新株予約権	42	45
少数株主持分	7,602	7,852
純資産合計	158,159	163,961
負債純資産合計	302,302	291,198

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	236,112	238,447
売上原価	196,774	197,901
売上総利益	39,337	40,545
販売費及び一般管理費	31,596	32,157
営業利益	7,741	8,388
営業外収益		
受取利息	10	35
受取配当金	540	630
その他	589	823
営業外収益合計	1,140	1,489
営業外費用		
支払利息	587	469
持分法による投資損失	180	332
貸倒引当金繰入額	536	70
その他	581	754
営業外費用合計	1,885	1,626
経常利益	6,995	8,251
特別利益		
投資有価証券売却益	83	233
事業譲渡益	—	69
その他	22	4
特別利益合計	106	308
特別損失		
減損損失	658	100
事業整理損	—	367
特別退職金	—	278
その他	807	325
特別損失合計	1,466	1,071
税金等調整前四半期純利益	5,635	7,487
法人税、住民税及び事業税	1,873	1,576
法人税等調整額	794	2,151
法人税等合計	2,668	3,727
少数株主損益調整前四半期純利益	2,967	3,760
少数株主利益	296	548
四半期純利益	2,671	3,211



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,967	3,760
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	545	4,151
土地再評価差額金	△248	—
為替換算調整勘定	2	139
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	15
その他の包括利益合計	297	4,306
四半期包括利益	3,265	8,066
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,955	7,457
少数株主に係る四半期包括利益	309	609

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。